慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	執筆者紹介；編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2019
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.35, (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20180000-0229

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

西山　伸　京都大学大学文書館教授

望月雅士　早稲田大学教育学部非常勤講師

都倉武之　慶應義塾福沢研究センター准教授

寺島宏貴　国立公文書館調査員

蔭木達也　慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程

原田　環　県立広島大学名誉教授

山内崇史　慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻前期博士課程修了

編集後記

太平洋戦争下、文科系学生の徴兵猶予が停止され、いわゆる「学徒出陣」が実施されてから、二〇一八年で七五年となった。慶應義塾福沢研究センターでは、二〇一八年一二月一日・二日に学徒出陣七五年シンポジウム／研究報告「慶應義塾と戦争」を開催した。本誌でも「学徒出陣七五年」を特集テーマとし、同シンポジウム／研究報告でコメンテーターを務められた京都大学の西山伸氏から「戦争末期の「学徒出陣」と題して、同じく早稲田大学の望月雅士氏から「学生と兵役」と題して、貴重なご論考を頂戴した。主催者側においても、都倉武之氏から「慶應義塾における御真影奉戴と奉安所」と題する論考を提供していただいた。深く感謝申し上げる次第である。

一般公募論文は、査読の結果、論説一本と研究ノート三本が掲載された。明治初期新聞の「公議」、『青鞜』における「女性」概念、井上角五郎の朝鮮情報に関する基礎的調査、福沢諭吉『分権論』における公共性、と例年通りテーマは多岐にわたるが、近代日本のメディア史、女性史、外交史、思想史をめぐる意欲作が並んだ。資料紹介として、福沢諭吉関係の新資料紹介を収めている。

本誌は、そのタイトルが示すとおり、近代日本研究に取り組む研究者たちにとって、慶應義塾内外に開かれたよき知的フォーラムとなりたいと考えている。次号は二〇二〇年二月刊行予定である。多数の意欲的論考の投稿を期待する。